



施設別事業計画

7

東大阪養護老人ホーム

運営方針

養護老人ホームのご入居者の重度化対応

ICTの活用にて、業務効率化を図り、職員の心身の負担を軽減し心地の良い職場を構築します。地域と協働して、行事の運営や福祉避難所の運営体制作りを行います。



重点項目

カラオケ喫茶「ふれあい」の運営

- 養護入居者が主体となり、地域の高齢者や子どもが住み慣れた地域で気軽に立ち寄り、気軽に過ごすことができる地域の「拠りどころ」となる場を形成します。また、「なんでも相談所」を併設し、個々の相談に応じるとともに、地域の課題の発見に努めます。



ご利用者と地域を結ぶ

- 養護入居者やデイサービスのご利用者が地域の中で役割を持って取り組める機会を設けることで、社会参加を促進し、生きがいややりがいを感じながら、地域と関わる環境づくりに取り組みます。

地域の中核を担う居宅・訪問介護事業所を目指して

- 地域ニーズの多様化に対応するため、介護支援専門員の増員と生産性の高い組織体制の構築を進めます。
- 今年度より初任者研修を開催し、訪問介護事業におけるヘルパー確保と介護技術の向上を図ることで、地域支援体制の強化と中核的役割を担う事業体制の構築を目指します。



ステップアップ事業

ご入居者の重度化対応

- 立位が困難になった場合でも、生活を継続できるよう新たに入浴機器等を導入し、住み慣れたホームで安心して暮らせる支援体制を整備します。また、介護DX化を更に推進し、見守り機器等を導入し業務の効率化を図り、職員の負担を軽減させるとともに、ご入居への直接支援の時間を増加させます。

達成目標

幅広いADLの方が入居できる体制を整えることで受け入れの幅を拡充し、安心できる環境のもとで継続した生活を送ることにより、ご入居者および職員双方の満足度を高めます。

- 介護職員個々における「介護技術」と「認知症ケア」の能力を把握し、個々に必要な実技研修や事例研修等を行うことで、ご入居者の重度化対応および暮らしの質の向上を実現します。

達成目標

自己評価と他者評価を実施することで、自己の気づきとともに、客観的な視点や知見を得ることで自己を再評価し、自己の介護技術とケア能力の成長に繋がります。

地域公益事業

「食楽処 ふれあい」の拡充

こども食堂の開催を毎月2回とし、ボランティア体制も増強することで施設・ご入居者・地域のそれぞれが主体性を発揮できる食堂運営を行います。

取組効果

多世代のボランティアグループによる定期的な学習支援と昔遊びの伝承の場を提供します。



実施事業一覧

- 東大阪養護老人ホーム（定員150名）
- デイサービスセンター「ふれあい」（定員18名）
- ケアプランセンター「ふれあい」
- ヘルパーステーション「ふれあい」（居宅介護・重度訪問介護事業含む）

- 東大阪養護老人ホーム診療所（東大阪市委託事業）
- 地域包括支援センター上小阪